



民産学官協働研究プロジェクト  
「Bスタイル：地域資源で循環型生活をする定住社会づくり」がスタート

★日本の元気は土佐の山間より★ 「Bスタイル」を仁淀川町から全国へ発信！  
高知県仁淀川町で地域資源による環境共生型社会のための実証実験を行います  
資源を掘り起こし、百の生業作り(メニュー化)によって定住社会を作ります  
地域が使える技術で自立を目指す、初の「社会技術開発」

概要

高知県仁淀川町において、森林資源を主体としたエネルギーの地産地消を推進し、地域資源を循環的に利用して生活する環境共生型の生活様式の確立を目指します。そのために、地域住民が資源を再発掘し、それらを活用する多数の生業化を考え、実証実験を行ったうえで百業メニューを作成し、それによって定住が出来る社会を作っていきます。

自然はあるけど人はいない、これが日本の農山村に共通する現状です。「本当にここには何も無いよ」と地域の住民が自嘲気味に語る田舎ですが、何も無いと思っていたからこそ資源は眠り、隠れていたのです。住民の自らの発想の転換により、目の前にある自然を資源として再認識(価値化)する事が活性化へのスタートです。そしてそれらを使ってエネルギーやモノが自給できる社会を作り出していきます。このことによって地域経済を再生し、文化・伝統などあらゆるものの価値を再認識・見える化し、派手ではないが豊かな精神性がもてる、つまり自信を持って生活ができる定住社会(Bスタイル)を作るのが目的です。

本プロジェクトでは、地域住民が将来像を提案し検証試験を行います。その実現のためにNPO、各種団体、自治体、研究機関、大学がそれぞれの知恵を持って参加する、地域主体の民産学官協働研究プロジェクトで、地域が使える技術で自立を目指す、初めての社会技術開発です。

なお、本件は10月より3年間実施(総額約4,000万円)し、委託元である独立行政法人科学技術振興機構(JST)からも9月16日にプレスリリース  されています。

問い合わせなど

独立行政法人 森林総合研究所四国支所長 今富 裕樹

研究担当者：森林総合研究所四国支所 産学官連携推進調整監 田内 裕之

広報担当者：独立行政法人 森林総合研究所四国支所 連絡調整室長 杉本 育己

Tel : 088-844-1121 (代) Fax : 088-844-1130

URL : <http://www.ffpri-skk.affrc.go.jp/>



この資料は、高知県県政記者室および日本農業新聞四国支局等へ配布しています。



研究開発プログラム  
地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会  
(独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター)

## Bスタイル： 地域資源で循環型生活をする定住社会づくり

2010年10月～2013年9月

取り纏め機関：独立行政法人森林総合研究所四国支所

参画機関：によど自然素材等活用研究会、NPO法人土佐の森・救援隊、NPO法人人と地域の研究所、NPO法人共存の森ネットワーク、(株)川崎重工業、高知エコデザイン協議会、高知県森林技術センター、高知大学、高知工科大学、森林総合研究所

協力機関：仁淀川町地区住民、佐川町農業法人、仁淀川漁協、仁淀川町商工会、コスモス農業協同組合、仁淀川町、佐川町、越知町、いの町、高知県、四国森林管理局 外

(独) 森林総合研究所 

### 概要（科学技術振興機構 公式発表用）

森林やバイオマスエネルギーの高度利用を含む地域の自然資源活用により、脱石油型の地域産業や、小規模ながらも多くの生業（百業）の組み合わせで生活する、派手ではないが豊かな精神性をもつ低炭素型の地域のスタイル（Bスタイル）を定式化し、その要件と実現方法を開発するとともに、その普及の有効性を検証する。

**Bスタイル**  
(によどスタイル)を  
全国に発信します！

(独) 森林総合研究所 

## プロジェクトは、

- 高知県仁淀川町（森林率>90%, 高齢化率>50%）で、地域資源による地域活性を目指します（エネルギー自給と産業復活）。
- 地域素材を利用した生業のメニュー化を図り、循環型経済を基本とした地域の再生と定住社会づくりを行います。
- 将来（2050年）に向けて、仁淀川流域（7市町村）での自然資源によるエネルギーや産業素材の自給シナリオを作成します。



## だから、

- ▶ 地域資源を見直す （B級資源をとことん探す！）
- ▶ 地場産業の脱石油化 （C級資源をとことん利用する！）
- ▶ 施設の有効利用 （今ある施設もとことん使う！）
- ▶ 百の生業作り （小さい仕事でも百あれば人が住む！）
- ▶ 地域経済の復興 （B級資源で地域は回る！：地産地消）
- ▶ 心豊かな生活 （Aモノで稼いでB+級生活！：地産外商）

（独）森林総合研究所 

## このプロジェクトの特徴

### ● 地域が主体の実験的プロジェクトです

地域が主体となって、**地域のための生業作り**を考えて行きます。そして、それをインターンシップや定住支援制度で来た人たちに実践してもらいます。「どうすれば生業として成り立つか？」みんなで知恵を絞ります。

### ● エネルギーの地産地消と地域活性を目指すプロジェクトです

地産地消がはやる今、エネルギーはどうなってます？ ハウス野菜だって石油漬け、どう思います？ いっそ、食べるのやめます？ でも、地のエネルギーで作った食べ物なら、環境に優しく心豊かになりませんか？

山しかない自嘲気味の山村が、その山の資源を使って**エネルギーの自立を図り、それに関連する生業を起こして**いきます。

### ● 民産学官の協働プロジェクトです

地域団体やNPO（民）が主体となって実証試験を行い、エネルギー開発等で会社（産）が、制度等の支援で自治体（官）が参加します。大学等研究機関（学）は、科学的根拠の提示や技術提案を行う、**4者連携協働プロジェクト**です。地域が使える技術で活性化を図る、「**社会技術開発**」です。

（独）森林総合研究所 